

夏季休暇に向けた事件・事故の未然防止について

～生徒の皆さんへ 夏季休暇の過ごし方と気をつけること～

夏季休暇中には、深夜はいかい・夜更かしに起因する問題行動が多く発生する傾向があります。気の緩みからくる様々な問題行動に注意し、有意義な夏休みとしてください。

1 連休中の過ごし方について

- (1) 沖縄県では、児童生徒を早めに帰宅させるよう声かけを行う、「GO家(ゴーヤ)運動」を推進しています。生徒自らの計画に基づく有意義な余暇を過ごせるようにしましょう。
- (2) 休暇中は開放感から生活リズムが不規則になり易いことから、健全な日常生活のリズムをくずさないようにしましょう。
- (3) 休暇中に行われる地域の伝統的な行事やボランティア活動、野外活動等に積極的に参加し、地域文化を学ぶとともに、地域との連帯感を深めましょう。



2 連休中に気をつけること



●不健全娯楽場等へ出入りするなど、事件・事故に巻き込まれる可能性のある場所や時間帯などを自ら避ける、「**危機回避**」の意識を持つこと。

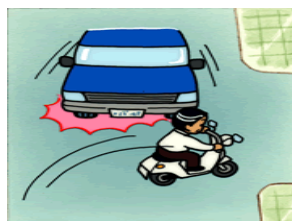
自分の身は自分で守る

●脱法ハーブ・MDMA・大麻・違法ドラッグ等の薬剤乱用防止について、常に意識すること。
(特に**脱法ハーブ**など、危険な薬物には絶対に手を出さないこと。ダメ! ゼッタイ!)

●学校は、高校生に不必要・不健全なアルバイトは認めていません。

●スマートフォン等利用による**ネット被害**が急増。保護者と使用ルールを決め、何かあったら一人で悩まずに、誰かに相談すること。

●重大事故の原因である高校生の**無免許、飲酒運転、暴走行為や深夜のドライブ等は法律違反**であり、自分はやらないことはもちろんのこと、友人にもそのような行為をさせないようにすること。



●定通制においては、車両所有者と雇用者・保護者で事故防止を図ること。

●暴走族グループを形成したり、暴走行為やあおり行為、取り巻きの見学等をするのがないよう

